

注目のアプライアンスが続々入荷!

アメリカン逸品堂



渡辺史敏

Photo: Kyoko Watanabe

アメリカでは、いまネットワークを活用したおもしろ製品がどんどん誕生している。

そのなかには感動的な驚きの名品もあれば、「なんだこりゃ?」な迷品もある。

ここアメリカン逸品堂では、毎月入荷する品々の中から店主厳選の逸品をご紹介します!

Yahoo! Mail を使う 割り切りサービス

安価に誰でも簡単に利用できることがインターネットアプライアンスを語るときの常套句の1つになっているが、Vtech製のこのe-Mail PostBox Express はさらに機能をメールに限定し、しかもモバイルでの使い勝手を考慮した製品だ。という、かつて日本で一世を風靡したNTTドコモのポケットボードと同じに聞こえるが、こちらは携帯電話に接続するのではない。モジュラージャック(RJ-11)で一般電話回線につなぐのだ。携帯電話の普及の遅さと“安価”に徹したいいかにもアメリカらしい製品だ。サイズは15センチ×8センチ×2センチ、重さは204グラムで、単三電

池2本で稼動する。とりえず携帯性は抜群だ。機能はあくまでもメールオンリーなのだ。ユニークなのは無料のYahoo! Mailを使う点だ。接続自体は専用のプロバイダーを使うのだが、メールの送受信はYahoo! Mailのアカウントで行うのだ。

使い勝手はけっこういい。液晶画面は5行表示だが、メールしか使わないならば十分だ。受信ボックス、送信ボックスともしっかりアイコン化されていてわかりやすいし、キーボードも両手の親指を使えば、慣れるとかなり速く打てるだろう。

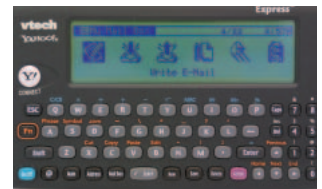
操作も非常に簡単で、電話線を接続したうえで液晶画面の左にあるYahoo!マークを押すと自動的に接続し、メールの送受信を行ったうえで自動的に切れるようになっている。

オンラインのままでは使えない。

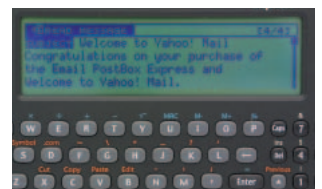
メモリー総量は512KBだが、自由に読み書きできるRAMは32KBだ。外部のメモリースロットはない。パワーユーザーにはなんととも心もとないスペックだが、その点はYahoo! Mailがカバーする。自分のアカウントに割り当てられたディスクスペースを活用すれば、画像の保存や大量メールにも対応できるというわけだ。この辺にもこの製品の割り切りを感じる。ただ、普及が遅れているとはいえ、メール対応の携帯電話なども徐々に増えているので、電話を使う点や、安価とはいえ約80ドルの製品価格がかかるということを考えると大ヒットには少し難しいものがあるかもしれない。しかし、そのコンセプトの割り切り方などは注目すべき製品といえるだろう。

電話線につなぐ携帯メール端末

e-Mail PostBox Express



新規作成、受信、送信、ドラフトなどのボックスがアイコン化されて並び、画面左の“Y!”マークが接続のためのボタン。これを押すだけで自動的に接続、送受信、切断が行われる。



液晶表示はくっきりとしており、見やすい。キーボードボタンも押しやすい。

DATA

メーカー: vtech
価格: 79ドル99セント
使用料: 29ドル95セント(3か月)

Jump www.vtechconnectusa.com

衛星放送もネットもハードディスク録画もOK!

DIRECTV Receiver with Ultimate TV

あくまでも基本は衛星放送用の端末か

インターネットに接続できるだけでなく衛星放送も受信でき、さらに最近流行のハードディスクへの録画機能いわゆるPVR（パーソナルビデオレコーダー）まで備えた“究極”のインターネットアプライアンス。それがマイクロソフトが開発してRCAが製造する「UltimateTV」（究極のテレビの意）だ。これは“インターネットとTVの融合の本命”とが、“デジタル家電の中心となる”とも言われるセットトップボックス（STB）タイプの製品で、その名のとおり家庭用テレビにつなぐことを前提にしている。

期待を込めてさっそくテストを始めようとしたところ、ここで大きな問題にぶつかった。デジタル衛星放送「DirecTV」が受信できないのだ。日本なら南東の空が見えていけば大丈夫だと思うが、アメリカはなにせ広大な国土ゆえ、地域ごとに設置方向が大きく異なる。筆者の住むニューヨークのマンハッタンでは、東海岸のためアンテナは南西よりもさらに西寄り、しかも緯度が高いため仰角35度に向けなければならない。しかし、その方向には障害物があって受信できないのだ。

なんとも初歩的なミスでがっかりきたものの、気を取り直してDirecTV以外のインターネット接続やPVRの機能をテストしようとし



DATA

メーカー：RCA
価格：399ドル99セント（アンテナは含まず）
ウェブTVの月額使用料：29ドル95セント（DirecTV受信料は別）
Jump www.ultimatetv.com

てさらに驚かされた。なんとDirecTV受信のセッティングが終わらない限りそのほかの機能も使えないのだ。

ここでふと気付いたのは、この製品はあくまでもDirecTVの受信チューナーだということだ。実際、製品名は“DIRECTV Receiver with UltimateTV service”であり、量販店でもコンピューターコーナーではなく衛星放送受信機器コーナーで販売されている。

本来ならば、デジタル衛星放送だけでなく地上波も35時間までハードディスクに番組を録画できるので、ReplayTVのようにインス



インターネット接続サービスの申し込みを促すメッセージが出るには出るが、使用はできない。

タントリプレイも楽しめるのだが、これでは意味がない。また、インターネット接続は基本的に電話線を使った「ウェブTV」であり、衛星が受信できなければ電子番組表が使えないのはしかたないとして、メールもウェブも使えないのは困ったものである。

これまでここで紹介してきたインターネット接続を前面に押し出したネットアプライアンスとは位置付けが異なる、あくまでもテレビ中心の製品だといえればそれまでだが、もう少し使い勝手に工夫してくれてもいいと思った。



ひと足早くハヤリモノをcheck!

今月の早目・早耳

アメリカの携帯電話市場が日本やヨーロッパに比べるとかなり遅れていることはすでに有名だろう。普及台数だけでなく、インターネット接続サービスの利用者自体もまだ少なく、カラー液晶を搭載した携帯電話にいたってはまだ1機種しか発売されていないという状態だ。

そんな米携帯電話市場に携帯電話キャリアのNextel社が4月に突如として日本でもまだ登場してから間もないJava対応の携帯電話を投入した。ウェブ接続はもちろん、日本のiアプリ同様のJavaアプリケーションもダウンロードして使える。

これで一挙に日本に追いつく！と言いたいところだが、写真を見てもらえばわかるように“まだ

また感”がぬぐえない。液晶はいまだに白黒だし、画面の大きさやデザインなどもかなり見劣りする。しかも、セガのゲームなどがダウンロードできるとはいえ、現在提供されているアプリケーションの数はたったの7つ。もちろん日本のiアプリとの互換性もない。機種もこのi85sのほかにもう1機種あるだけで、サードパーティーによるアプリケーション開発の状況も不明だ。はっきり言ってこのままでは発売しただけに終わってしまうのではないかという危惧はぬぐえないのである。日本の読者の方々がうらやましいかぎりである。

アメリカでもJava対応のケータイ登場!



Nextel i85s

Jump www.nextel.com

普及促進を狙って発売時には通常価格の299ドル99セントから100ドル値引きされたが売れ行きはイマイチのよう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp